

第166回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成23年3月6日(木) 11:00~12:00

2 開催場所 宇都宮グランドホテル会議室

3 委員の出席 委員総数 8人
出席委員数 6人

(1) 出席委員の氏名 青木 敬信(委員長)
早川 富美子(副委員長)
片岡 真理
古磯 勝子
森内 律子
片山 貴之

(2) 欠席委員の氏名 島田 恭子
岡田 好弘

(3) 放送事業者側出席者 佐藤 望(放送部部长)
古寺 雄史(放送部主任)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換
2月23日に放送した「SAKURA FM」について、
試聴と意見交換を行った。

事業者 この番組は、平成23年2月からの新番組で、毎週水曜日の15時から
15時55分に放送しているものであり、国の雇用対策「ふるさと雇用基金再生事業」を
使った地域ブランドイメージ向上の番組としては、昨年12月にスタートした、宇都宮市
提供の「ゆかいなラジオ」に続く、2番組目となります。

内容は、さくら市の観光スポット、イベントや活躍している市民などを紹介する番組で、
DJには、熊谷光紗、リポーターには、水野真菜三、他スタッフ1名を、
当番組の専属スタッフとして雇用しております。

【 番組の試聴 】

委員：パーソナリティ・リポーターの二人とも、明るく爽やかな印象を持った。
また、気取っていないところがよく、癒し系なトークに好感をもった。

委員：インタビューコーナーの「Sakura な人」のゲストの話がとても聞きやすく、
もっと聞いていたいと思った。

委員：さくら市の市民の方が話すコーナージングルがよかった。

委員：さくら市のことをあまり知らない人が行ってみたくなるような内容だった。
また、なるほどと思わせる情報が多く、さくら市のPRに役立つ番組に感じた。

委員：「ふるさと雇用基金再生事業」を活用した番組とあるが...

事業者：この番組の制作のために雇用した専任スタッフが、地域に出向いて、
より細かな取材をすることで、内容を、より深く掘り下げられ、
番組のクオリティを上げられることがメリットになる。
さらに、各自治体が地域に根ざした情報を発信したいとした時の受け皿として、
県域放送局でも、こういった形の情報番組を提供することが出来ることを
示したいと考えている。

委員：番組は、オーソドックスなつくりで、すごくまとまっているなど感じた。
しかし、今後、同時時間帯にスタートする、他の市の情報番組との差別化をはかるため、
構成や、内容に、工夫が必要になると思う。

委員：こうしたローカルな内容を深く取り上げる番組が増えることで、
地域に、親しみをもつきっかけになることがよいと感じるが、
逆に、親しみやすさが全面に出ることで、FMが本来もっている
「おしゃれ感」、「都会的なイメージ」を感じにくくなるのではないかと。
伝統的なものだけではなく、未来を感じさせてくれるものも積極的に取り上げてほしい。

委員 パーソナリティ・リポーターの話ぶりから、二人の一生懸命さが伝わってきたが、
一方で、台本を読むのが精一杯な印象も受け、発音なども気になった。
だんだんと力が抜けてくれば...と思う。今後に期待したい。

(以上)

(3) その他
なし

(4) 次回開催日程について
次回の開催を4月7日(木)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日
なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

(1) 放送 3月27日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内

(2) 書面 本社事務所に備え置き

(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項

なし